

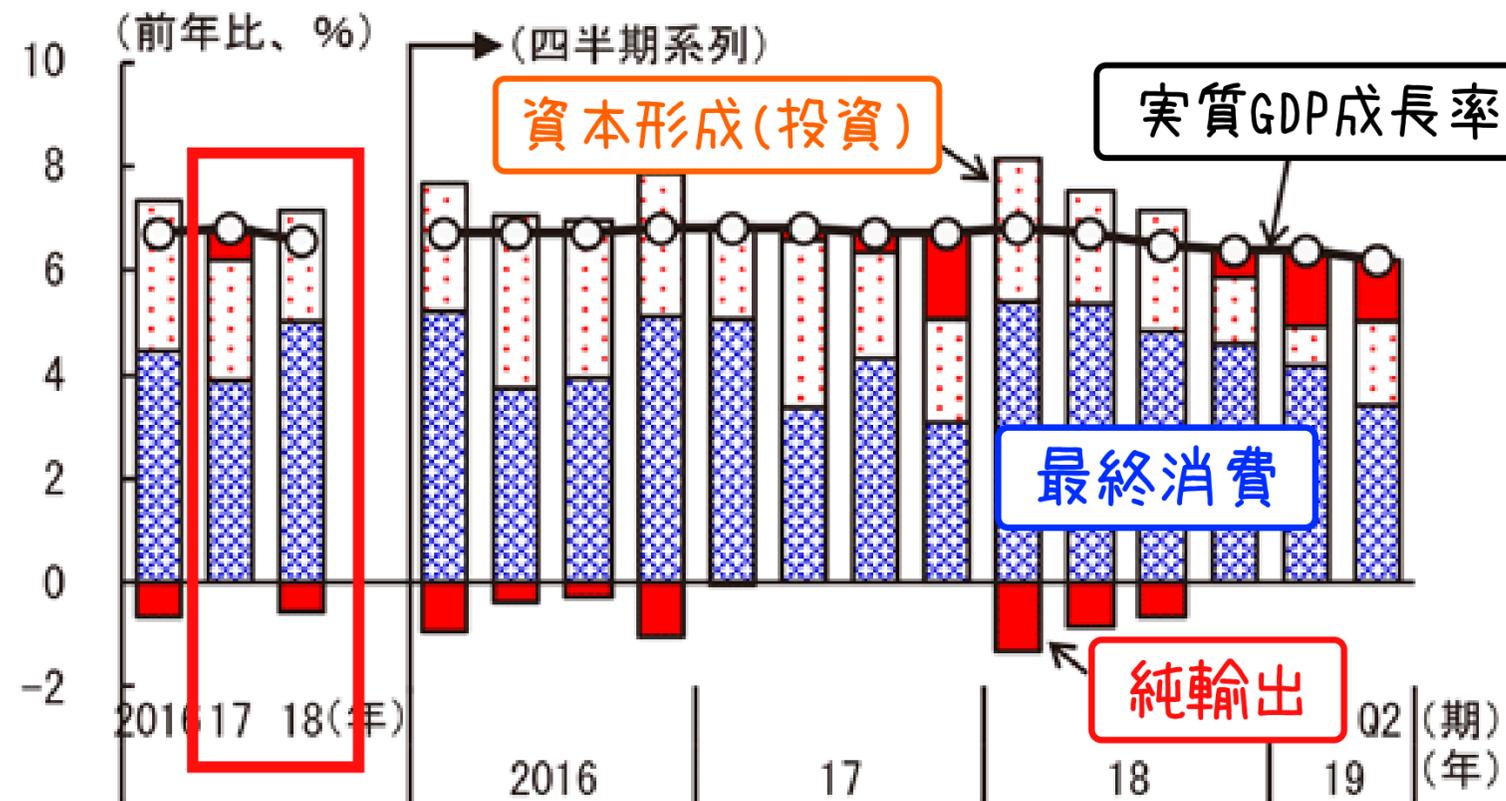
【公務員試験の時事対策】

【中国経済&金融政策】

◎中国経済

【中国の実質GDP成長率】

第2-3-1図 中国の実質経済成長率



(備考) 中国国家统计局より作成。

(出典)内閣府公開資料



経済の動きは図で見るのが一番！
中国の2018年の実質GDP成長率は6.6%！



2018年の目標は6.5%前後だったから、
目標こそ達成したものの、伸びが低下
してしまっているなあ。



	経済規模 (2017)		寄与度	
	金額	構成比	2017年	2018年
GDP	82,075	100.0	6.8	6.6
最終消費	43,715	53.6	<u>3.9</u>	<u>5.0</u>
総資本形成	36,396	44.6	<u>2.3</u>	<u>2.1</u>
純輸出	1,415	1.7	<u>0.6</u>	<u>▲0.6</u>

(出典)通商白書

2017年と2018年のトータル(赤枠部分)を比較すると、『最終消費』は寄与度が拡大したけど、『資本形成(投資)』の寄与度は縮小、『純輸出』はマイナスに転じたんだね！



2018年半ばから最終消費の寄与度の縮小が続いたけど、全体で見ると拡大傾向だったんだ！



産業別に分けると第1次～第3次産業まですべて減速！



第3次産業の情報通信・情報技術サービスは好調で約22%→約31%と突出して高い伸び率を記録してやったぜ！



◎中国の経済政策

2018年は金融リスクへの対処として企業や家計の債務削減に力を入れたぜ！



この点は改善傾向にあったんだけど、この過程で中国経済が減速！



これはまずいな...今まで抑制していたインフラ投資を促進するしかないな！



そうですね！
さらに減税も実施しましょう！



そうだな！景気の下支えが最優先だ！



中国は経済政策の中心を債務削減から景気支援へと方向転換したんだ。



なるほど～！
この時期に米中貿易摩擦が激化しちゃったんだよね！



うん！その結果、結局2018年は純輸出がマイナスに寄与しちゃったわけだ。



ただ、2018年は関税引き上げを懸念した駆け込み輸出があって、中国のアメリカに対する貿易黒字額は拡大したんだ！



景気を持ち上げるために、中国の中央銀行(中華人民銀行)は預金準備率を約2年ぶりに引き下げ、銀行に対して民営中小企業への資金供給を拡大するように指導したんだ。



預金準備率って何だ？



中央銀行は市中の銀行に対して、ある一定量(%)はウチに預けておいてって強制的に預けさせているんだ。



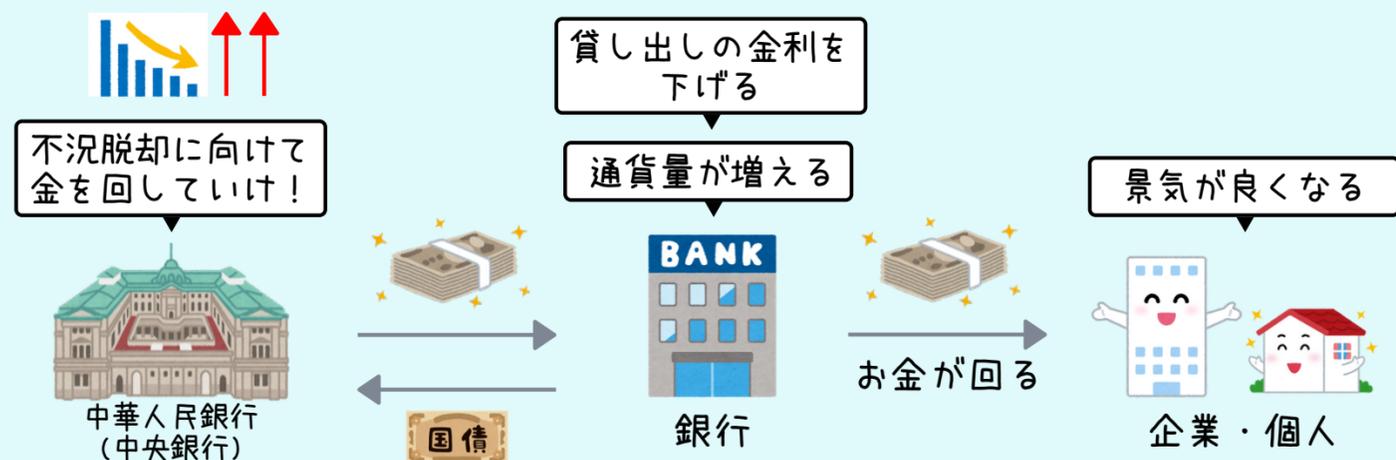
この割合を少なくすれば、強制的に預けなきゃいけないお金が少なくなるから市中の銀行はお金に余裕ができるよね！



この割合のことを預金準備率といって、中央銀行はこの割合を操作することで世の中のお金の量を調整しているんだ！



【不景気の際は景気を良くしたい】



おい銀行ども！預金準備率を下げるからしっかり企業・個人に回していけ！



その後も数次にわたって率を下げていくよ。コロナの影響で2020年3月にも下げていたね。



そして、中国は毎年3月に全人代という日本でいう国会みたいなものが開かれて、ココで経済政策等を方針を決めて発表するんだけど、2019年3月の全人代では経済成長率の目標を引き下げ。



2019年の実質GDP成長率の目標は6～6.5%とする。



2018年は6.5%前後だったから目標を少し下げたわけだね。



うん！ちなみに2020年3月の全人代では2020年の目標は6%前後にすると言っていたよ。



また、全人代では2019年の重点施策10項目を列挙して、その筆頭に「マクロコントロールを革新・充実させ、経済動向を合理的な範囲内に確実に保つ」ことを挙げ、**減税等の景気支援策**を盛り込んだんだ！



せんせい

よくわかんないけど、景気支援に力を入れていきましょうってこと？



ネコ君

そういうこと！2018年は『構造改革』に力を入れますよって言ってたんだけど、2019年は『**景気支援**』に力を入れようって言うっているわけだ！



せんせい